

2020年8月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年10月8日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社マルマエ
 コード番号 6264 URL <http://www.marumae.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前田 俊一
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 下舞 毅 TEL 0996-68-1140
 定時株主総会開催予定日 2020年11月27日 配当支払開始予定日 2020年11月30日
 有価証券報告書提出予定日 2020年11月30日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2020年8月期の業績（2019年9月1日～2020年8月31日）

（1）経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期	4,388	9.2	896	80.8	834	74.8	690	58.2
2019年8月期	4,019	△12.4	495	△59.9	477	△60.6	436	△49.6

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年8月期	53.34	—	12.5	9.7	20.4
2019年8月期	33.45	—	8.4	5.8	12.3

（参考）持分法投資損益 2020年8月期 一百万円 2019年8月期 一百万円

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年8月期	8,894	5,706	64.2	445.69
2019年8月期	8,329	5,307	63.7	406.65

（参考）自己資本 2020年8月期 5,706百万円 2019年8月期 5,307百万円

（3）キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年8月期	1,190	△337	△575	2,540
2019年8月期	1,052	△1,496	96	2,263

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年8月期	—	10.00	—	5.00	15.00	195	44.8	3.8
2020年8月期	—	5.00	—	12.00	17.00	218	31.9	4.0
2021年8月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00		47.6	

3. 2021年8月期の業績予想（2020年9月1日～2021年8月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	2,100	4.0	300	△17.8	291	△14.8	213	△10.4	16.64
通期	4,700	7.1	780	△13.0	762	△8.6	538	△22.1	42.02

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2020年8月期	13,053,000株	2019年8月期	13,053,000株
2020年8月期	250,196株	2019年8月期	150株
2020年8月期	12,945,749株	2019年8月期	13,052,889株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると断定する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注記事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績・財務状態に関する分析 (1) 経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績・財務状態に関する分析	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	2
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 企業集団の状況	3
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
4. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(表示方法の変更)	10
(持分法損益等)	10
(セグメント情報等)	10
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12
5. その他	13
(1) 役員の異動	13
(2) 生産、受注及び販売の状況	13

1. 経営成績・財務状態に関する分析

(1) 経営成績に関する分析

(当期の経営成績)

当事業年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあります。個人消費については持ち直しの動きが見られました。

当社の主な販売分野である半導体分野におきましては、米中間の問題に関連し設備投資に一時的な先送りや、新型コロナウイルス感染症の影響からスマートフォン向けの需要に一部停滞が見られましたが、サーバー向けの設備投資を中心に好調に推移しました。また、2019年以降高水準が続いていたファウンドリ*1を含むロジック向け*2の投資が年度末にかけて一段落する一方で、メモリ向け*3の設備投資は好調に推移いたしました。FPD分野におきましては、中国向けのOLED(有機EL)投資やG10.5液晶パネル投資が続きましたが、新型コロナウイルス感染症の影響でOLED投資には若干減少傾向が見られました。

これらの経済状況のもと、半導体分野では、新たな顧客で一部量産が始まったほか、従来顧客においても新規品種で受注が拡大しました。FPD分野では、市場が停滞するなかでも大型電子ビーム溶接(EBW)*4を使う受注の拡大が貢献し、概ね好調に推移いたしました。

費用面につきましては、採算性の低い案件が減ったことで、当初想定に対して材料費と外注費の比率が低くとどまったことなどから、従来の見通しよりも低減することができました。

これらの結果、当事業年度の業績は、売上高が4,388百万円(前年同期比9.2%増)、営業利益は896百万円(前年同期比80.8%増)、経常利益は834百万円(前年同期比74.8%増)、当期純利益は690百万円(前年同期比58.2%増)となりました。

なお、当社は精密部品事業のみの単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

*1 ファウンドリとは、顧客からの設計データをもとに半導体を受託製造するメーカーのことです。

*2 ロジックとは、演算や論理処理を行う半導体素子です。

*3 メモリとは、記憶を保持する半導体素子です。

*4 電子ビーム溶接とは、真空中でプログラム通りに、高出力の電子ビームを使い溶接するものです。

(次期の見通し)

今後の見通しにつきましては、当社の主な販売分野である半導体分野では、2020年10月以降ファウンドリ向け設備投資に回復の動きが見られます。さらに、新たな顧客向けに試作品の提供も継続しております。このような市場環境などから、当社の2021年8月期第1四半期までは停滞しながらも、同第2四半期以降には回復し始める見通しを持っております。

FPD分野では、好調を維持したG10.5液晶パネル向け投資が2020年10月で終息し、翌2021年6月までは案件が無いことと、中小型のOLED向け投資についてもスマートフォンの低迷から落ち込む見通しをもっております。当社は大型電子ビーム溶接(EBW)を活用した受注を進め、落ち込みを最小限にとどめる活動を行う予定です。

その他分野につきましては、引き続き、当社の各種生産能力を活用した受注活動を行ってまいります。

設備投資につきましては、9億円強を想定しております。なお、費用につきましては、中期事業計画の売上高70億円達成に向けて生産能力拡大を進めていることから、労務費と減価償却費が増加する見通しです。

以上の状況から、次期の見通しにつきましては、売上高は4,700百万円(前年同期比7.1%増)、営業利益は780百万円(前年同期比13.0%減)、経常利益は762百万円(前年同期比8.6%減)、当期純利益は538百万円(前年同期比22.1%減)を予想しております。

(2) 財政状態に関する分析

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当事業年度末の総資産は、前事業年度末に比べて565百万円増加し、8,894百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べて762百万円増加し、4,369百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加(前事業年度末差276百万円増)、売上高増加に伴う売掛金及び電子記録債権の増加(同586百万円増)等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べて197百万円減少し、4,524百万円となりました。これは主に、機械及び装置の取得等による有形固定資産の増加及び減価償却費の計上(同210百万円減)等によるものであります。

(負債)

当事業年度の負債総額は、前事業年度末に比べて167百万円増加し、3,188百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べて451百万円増加し、1,183百万円となりました。これは主に未払法人税等の増加(同230百万円増)、新規借入による1年内返済予定の長期借入金の増加(同10百万円増)、未払金の増加(同39百万円増)、その他流動負債の増加(同166百万円増)、未払費用の増加(同13百万円増)等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べて284百万円減少し、2,004百万円となりました。これは主に長期借入金の返済による減少(同292百万円減)等によるものであります。

(純資産)

当事業年度末の純資産合計は、前事業年度末に比べて398百万円増加し、5,706百万円となりました。

これは主に、自己株式の取得による161百万円の減少があった一方、当期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものであり、総資産に占める自己資本比率の割合は64.2%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、2,540百万円となり、前事業年度末と比較して276百万円増加しております。

主な要因は、営業活動によって獲得した1,190百万円のキャッシュ・フロー及び、有形固定資産の取得等を行った投資活動によって支出した337百万円のキャッシュ・フロー並びに長期借入金の返済、自己株式の取得等の財務活動により支出した575百万円のキャッシュ・フローによるものであります。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、1,190百万円（前年同期は1,052百万円の獲得）となりました。これは主に税引前当期純利益976百万円、減価償却費568百万円を計上したこと、利息の支払額17百万円、売上債権の増加による資金の減少541百万円、未払消費税の増加167百万円、その他流動負債の増加58百万円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、337百万円（前年同期は1,496百万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出331百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、575百万円（前年同期は96百万円の獲得）となりました。これは長期借入れによる収入100百万円、長期借入金の返済による支出382百万円、自己株式の取得による支出161百万円、配当金の支払額131百万円等によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年 8月期	2017年 8月期	2018年 8月期	2019年 8月期	2020年 8月期
自己資本比率 (%)	38.1	57.9	63.5	63.7	64.2
時価ベースの自己資本比率 (%)	146.4	278.1	187.8	138.1	127.4
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	2.2	2.5	2.8	2.5	2.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	22.9	29.2	50.7	56.1	66.3

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式総数をベースに計算しております。

2. キャッシュ・フローは、営業活動キャッシュ・フローを利用しております。

3. 有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主に対する利益還元につきましては、重要な経営施策の一つとして位置づけています。

今後の利益配分に関しましては、長期的な視野に立った投資の実施とともに、経営成績及び財務状況を勘案しつつ、収益性に基づく利益配分を目指し、配当金の計算は、配当性向の考えを取り入れております。なお、中期的な配当性向の目途といたしましては、現中期事業計画の期間中（2019年8月期から2022年8月期）は、30%以上を目途とすることを目標としております。また、最終損益で損失を計上しない限りは、通年で最低10円の安定配当を行う方針としております。

また、次期につきましては、中間配当10円、期末配当10円の合計20円を予定しております。

2. 企業集団の状況

当社は、子会社及び関連会社を有しておりませんので、該当事項はありません。

3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は連結財務諸表を作成していないため、国際会計基準に基づく財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

4. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年8月31日)	当事業年度 (2020年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,263,944	2,540,381
受取手形	63,100	18,229
売掛金	423,099	701,275
電子記録債権	348,324	656,828
製品	12,186	6,402
仕掛品	419,739	426,814
原材料及び貯蔵品	3,922	5,256
前渡金	13,041	—
前払費用	13,873	13,750
未収還付法人税等	42,155	—
その他	5,675	3,619
貸倒引当金	△1,751	△2,888
流動資産合計	3,607,312	4,369,671
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,042,022	2,051,891
減価償却累計額	△360,548	△458,588
建物(純額)	1,681,474	1,593,303
構築物	125,980	131,626
減価償却累計額	△54,330	△61,748
構築物(純額)	71,649	69,877
機械及び装置	4,484,083	4,659,742
減価償却累計額	△2,474,723	△2,884,457
機械及び装置(純額)	2,009,360	1,775,284
車両運搬具	82,223	101,001
減価償却累計額	△66,312	△75,932
車両運搬具(純額)	15,910	25,068
工具、器具及び備品	49,827	54,557
減価償却累計額	△31,862	△39,683
工具、器具及び備品(純額)	17,965	14,874
土地	766,549	766,549
リース資産	—	4,075
減価償却累計額	—	△339
リース資産(純額)	—	3,735
建設仮勘定	5,173	109,163
有形固定資産合計	4,568,083	4,357,856
無形固定資産		
ソフトウェア	61,652	65,198
ソフトウェア仮勘定	14,739	—
その他	64	45
無形固定資産合計	76,456	65,244

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年8月31日)	当事業年度 (2020年8月31日)
投資その他の資産		
投資有価証券	7,000	7,000
出資金	111	111
長期前払費用	—	3,464
繰延税金資産	69,629	90,428
その他	690	690
投資その他の資産合計	77,430	101,694
固定資産合計	4,721,970	4,524,795
資産合計	8,329,283	8,894,466
負債の部		
流動負債		
買掛金	123,139	115,698
1年内返済予定の長期借入金	379,512	389,512
リース債務	—	679
未払金	53,869	93,343
未払費用	110,001	123,315
未払法人税等	13,722	244,704
前受金	2,991	3,356
預り金	15,622	7,060
前受収益	245	245
受注損失引当金	13,300	19,500
その他	19,591	186,298
流動負債合計	731,997	1,183,714
固定負債		
長期借入金	2,262,718	1,970,706
長期リース債務	—	3,056
退職給付引当金	14,453	18,953
資産除去債務	1,069	1,069
受入保証金	2,700	2,700
その他	8,418	8,172
固定負債合計	2,289,360	2,004,658
負債合計	3,021,357	3,188,372
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,241,157	1,241,157
資本剰余金		
資本準備金	1,125,157	1,125,157
その他資本剰余金		
自己株式処分差益	813,184	813,184
資本剰余金合計	1,938,342	1,938,342
利益剰余金		
利益準備金	14,112	14,112
その他利益剰余金		
圧縮積立金	20,369	15,847
繰越利益剰余金	2,094,051	2,658,606
利益剰余金合計	2,128,533	2,688,566
自己株式	△106	△161,971
株主資本合計	5,307,926	5,706,094
純資産合計	5,307,926	5,706,094
負債純資産合計	8,329,283	8,894,466

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)	当事業年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)
売上高	4,019,454	4,388,522
売上原価		
製品期首たな卸高	55,077	12,186
当期製品製造原価	2,890,846	2,990,118
合計	2,945,923	3,002,305
他勘定振替高	3,940	13,666
賃貸原価	19,673	26,083
製品期末たな卸高	12,186	6,402
売上原価	2,949,470	3,008,319
売上総利益	1,069,983	1,380,203
販売費及び一般管理費		
役員報酬	109,964	94,115
給料及び手当	114,055	130,375
退職給付費用	791	614
減価償却費	33,039	31,777
租税公課	62,201	36,796
支払手数料	70,933	62,622
貸倒引当金繰入額	△839	1,137
研究開発費	25,758	28,259
その他	158,486	98,268
販売費及び一般管理費合計	574,391	483,966
営業利益	495,592	896,236
営業外収益		
受取利息	130	472
受取配当金	2	2
受取手数料	843	546
受取家賃	660	580
受取地代家賃	269	293
その他	732	156
営業外収益合計	2,638	2,050
営業外費用		
支払利息	18,750	17,961
為替差損	1,972	770
支払補償費	447	44,461
その他	17	1,008
営業外費用合計	21,187	64,201
経常利益	477,043	834,086
特別利益		
固定資産売却益	—	4,272
補助金収入	113,424	138,499
特別利益合計	113,424	142,771
特別損失		
固定資産除却損	4,739	22
特別損失合計	4,739	22
税引前当期純利益	585,727	976,835
法人税、住民税及び事業税	152,691	307,073
法人税等調整額	△3,522	△20,799
法人税等合計	149,168	286,273
当期純利益	436,559	690,561

製造原価明細書

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)		当事業年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	
		金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
I 材料費		712,130	24.3	652,541	21.8
II 労務費		902,002	30.7	919,799	30.7
III 経費		1,322,439	45.0	1,424,852	47.5
当期総製造費用		2,936,571	100.0	2,997,193	100.0
期首仕掛品たな卸高		374,013		419,739	
合計		3,310,585		3,416,933	
期末仕掛品たな卸高		419,739		426,814	
当期製品製造原価		2,890,846		2,990,118	

原価計算の方法

原価計算の方法は、個別原価計算によっております。

(注) ※ 主な内訳は次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)	当事業年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)
外注加工費 (千円)	477,419	512,515
減価償却費 (千円)	448,293	510,532
受注損失引当金繰入額 (千円)	6,900	6,200

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本										純資産合計	
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本合計			
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金						利益剰余金合計
						圧縮積立金	繰越利益剰余金					
当期首残高	1,241,157	1,125,157	813,184	1,938,342	14,112	26,181	1,912,738	1,953,032	△59	5,132,472	5,132,472	
当期変動額												
剰余金の配当							△261,058	△261,058		△261,058	△261,058	
圧縮積立金の取崩						△5,812	5,812	-		-	-	
当期純利益							436,559	436,559		436,559	436,559	
自己株式の取得								-	△47	△47	△47	
当期変動額合計	-	-	-	-	-	△5,812	181,313	175,501	△47	175,453	175,453	
当期末残高	1,241,157	1,125,157	813,184	1,938,342	14,112	20,369	2,094,051	2,128,533	△106	5,307,926	5,307,926	

当事業年度(自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本										純資産合計	
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本合計			
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金						利益剰余金合計
						圧縮積立金	繰越利益剰余金					
当期首残高	1,241,157	1,125,157	813,184	1,938,342	14,112	20,369	2,094,051	2,128,533	△106	5,307,926	5,307,926	
当期変動額												
剰余金の配当							△130,528	△130,528		△130,528	△130,528	
圧縮積立金の取崩						△4,521	4,521	-		-	-	
当期純利益							690,561	690,561		690,561	690,561	
自己株式の取得								-	△161,865	△161,865	△161,865	
当期変動額合計	-	-	-	-	-	△4,521	564,555	560,033	△161,865	398,168	398,168	
当期末残高	1,241,157	1,125,157	813,184	1,938,342	14,112	15,847	2,658,606	2,688,566	△161,971	5,706,094	5,706,094	

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)	当事業年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	585,727	976,835
減価償却費	500,287	568,393
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△839	1,137
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	6,900	6,200
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	3,591	4,499
受取利息及び受取配当金	△132	△474
支払利息	18,750	17,961
為替差損益 (△は益)	1,837	770
固定資産売却益	—	△4,272
固定資産除却損	4,739	22
売上債権の増減額 (△は増加)	401,632	△541,808
たな卸資産の増減額 (△は増加)	29,554	△2,625
仕入債務の増減額 (△は減少)	△27,260	△7,441
未払消費税等の増減額 (△は減少)	13,277	167,182
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	1,056	15,080
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△4,102	58,681
その他	10,532	△12,246
小計	1,545,552	1,247,893
利息及び配当金の受取額	132	474
利息の支払額	△18,886	△17,767
法人税等の還付額	—	42,155
法人税等の支払額	△474,061	△82,236
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,052,736	1,190,519
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,452,371	△331,571
有形固定資産の売却による収入	—	4,272
無形固定資産の取得による支出	△43,891	△10,061
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,496,262	△337,360
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入による収入	300,000	—
短期借入金の返済による支出	△300,000	—
長期借入れによる収入	700,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△344,512	△382,012
自己株式の取得による支出	△47	△161,865
配当金の支払額	△258,619	△131,734
ファイナンス・リース債務の返済による支出	—	△339
財務活動によるキャッシュ・フロー	96,821	△575,951
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,837	△770
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△348,542	276,437
現金及び現金同等物の期首残高	2,612,487	2,263,944
現金及び現金同等物の期末残高	2,263,944	2,540,381

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(損益計算書)

前事業年度において、独立掲記していた「営業外収益」の「未払配当金除斥益」は、営業外収益の合計額の100分の10以下となったため、当事業年度より「その他」に含めて表示しております。

この表示方法の変更を反映させるため、前事業年度の財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前事業年度の損益計算書において、「営業外収益」の「未払配当金除斥益」310千円は、「その他」として組み替えております。

前事業年度において、「営業外費用」の「その他」に含めて表示しておりました「支払補償費」は、営業外費用の100分の10を超えたため、当事業年度より区分掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前事業年度の財務諸表の組替えを行っております。

(持分法損益等)

前事業年度(自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前事業年度(自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)

当社は、精密部品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当事業年度(自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

当社は、精密部品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前事業年度(自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

当社は、単一セグメントであり、区分すべき製品及びサービスの区分が存在しないため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の氏名又は名称	売上高	関連するセグメント名
東京エレクトロン宮城株式会社	1,704,021	精密部品事業
日本発条株式会社	1,070,063	精密部品事業
東京エレクトロン九州株式会社	478,390	精密部品事業

当事業年度(自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

当社は、単一セグメントであり、区分すべき製品及びサービスの区分が存在しないため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の氏名又は名称	売上高	関連するセグメント名
日本発条株式会社	1,347,614	精密部品事業
東京エレクトロン宮城株式会社	1,260,932	精密部品事業
東京エレクトロン テクノロジーソリューションズ株式会社	636,481	精密部品事業
東京エレクトロン九州株式会社	475,091	精密部品事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前事業年度(自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前事業年度(自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前事業年度(自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

項目	前事業年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)	当事業年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)
1株当たり純資産額	406円65銭	445円69銭
1株当たり当期純利益金額	33円45銭	53円34銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)	当事業年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)
当期純利益金額(千円)	436,559	690,561
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益金額(千円)	436,559	690,561
期中平均株式数(株)	13,052,889	12,945,749

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(開示の省略)

重要な会計方針、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、キャッシュ・フロー計算書、金融商品、有価証券、退職給付、税効果会計、資産除去債務、関連当事者情報に関する注記事項については、決算短信における開示の重要性が大きくないと考えられるため開示を省略しております。

5. その他

(1) 役員の異動

該当事項はありません。

(2) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当事業年度の生産実績を製品分野別に示すと、次のとおりであります。

区分	当事業年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	対前年増減率 (%)
半導体製造装置関連部品 (千円)	3,197,381	0.7
F P D製造装置関連部品 (千円)	1,068,281	63.0
その他 (千円)	21,082	△69.6
合計 (千円)	4,286,746	9.9

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注状況

当事業年度の受注状況を製品分野別に示すと、次のとおりであります。

区分	当事業年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)			
	受注高	対前年増減率 (%)	受注残高	対前年増減率 (%)
半導体製造装置関連部品 (千円)	3,391,022	17.0	579,829	48.0
F P D製造装置関連部品 (千円)	933,465	23.2	205,176	△39.7
その他 (千円)	22,448	△38.0	6,166	25.4
合計 (千円)	4,346,936	17.8	791,173	7.3

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当事業年度の販売実績を製品分野別に示すと、次のとおりであります。

区分	当事業年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	対前年増減率 (%)
半導体製造装置関連部品 (千円)	3,202,930	0.7
F P D製造装置関連部品 (千円)	1,068,640	62.7
その他 (千円)	116,950	△35.5
合計 (千円)	4,388,522	9.2

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。